

第3事業年度(2020年10月1日～2021年9月30日)

事業報告

1. 事業目的

昨期同様にアフリカ、カンボジアの恵まれない子どもたち、女性、青年たちの教育、健康等に関することを中心に支援活動いたしました。加えて東チモールの状況を注視しながら支援体制を整えています。

- アフリカ支援では、特に度重なる内戦、疫病、自然災害に苦しむコンゴ民主共和国（以下 RDC と記す）の東部地方を重点的に行っています。支援は、聖マリア女子修道会を通して実施されています。
- カンボジア支援は、ポル・ポト政権時の悲惨な内戦終了から 40 年以上経つ今、ますます貧富の差が拡大し、農村部では子供たちの教育や生活環境はまだまだ改善が遅れています。特にシエムリアップ近郊に位置する貧しい村を対象に継続的に支援し行っています。この支援は現地イエズス会の司祭を通して実施されています。
- 昨期から東チモール支援については、アタロウ島の女性、青少年、子供たちを対象に教育、医療面の新規事業として支援を行うことにしました。支援は聖マリア女子修道会の要請により行われます。しかし、この事業は、コロナ禍により現地の活動が制限されており、計画の遅延が生じているため、感染状況を注視しながら様子をうかがっています。

2. 会員と収益について

現会員数： 624 名（増減比 +15 名）

退会者数： 10 名（2018 年設立時から累計、亡くなられた方も含む）

収益に関しては、別紙決算報告書を参照。

3. 活動について

3-1. 定期活動

1. 理事会 8 回（臨時会議含む。電話会議および Zoom 等のビデオ会議も利用）
2. スタッフ会議 3 回（電話会議および Zoom 等のビデオ会議も利用）
3. 広報誌 Smiling 第3号（(2021年7月)）および News Letter 1号（2021年3月）発行

3-2. 対外事業活動

- カンボジア事業
 - 2020年12月22日および2021年7月8日 シエムリアップ教会へ通常支援金

送金（教区内の学校教育支援 etc.）

- シェムリアップ教会主任司祭から事業報告および近況レポート（広報誌3号参照）があった
- その他、2021年7月8日 コロナ禍で学校教育に支障を来した教師の給料補助のために特別支援金（「4. 特別支援金について」参照）を送金

● アフリカ事業

- 2020年12月22日 聖マリア修道女会アフリカ管区に通常支援金送金（子供たちの教育、食糧支援 etc.）
- アフリカ管区長より支援金についての事業報告および現地の近況レポート（広報誌3号参照）があった
- 今期は、二つの学校建設および既設診療所の施設拡充など三つのプロジェクトがRDCより提出され、審査・検討を重ねた上で会の主旨に一致することから、理事会、スタッフ会議で特別支援（「4. 特別支援金について」参照）として送金することを決定。2021年7月27日、2021年9月3日および10日の三回に分けて送金した

● 東チモール事業

- Sr.荒井から、その後の状況報告がメールであった。新型コロナウイルス感染の収束が見えず、東チモールへの渡航に遅延が出ている。現地においても活動が停止している状態である。会として今後もSr.荒井と連絡を取り合って状況を注視している

3-3. 各活動部門の報告

● 総務部門の活動

- クラウドストレージを利用して会の重要書類、会議録などの収納整理を行った

● 財務部門の活動

- 銀行間とオンライン契約を行い、種々の会計情報などの電子的管理を行った
- 会計ソフトを導入し、会計処理上の税理士との共有化を開始した

● 情報管理部門の活動

- 会員名簿管理システムを電子化し充実を図った
- クラウドストレージを契約し、ファイル管理システムを構築した
- メールリングリストを Kids&Smile ドメインに全て移行した

● 広報部門の活動

- 定期活動内で報告

● 企画部門の活動

- 2021年版カレンダー作成・販売を行った。好評だったため2022年度版カレンダーについて同様に作成計画を行った
- YouTubeで「カンガス神父様からのメッセージ」を配信した

3-4. 支援者への啓発活動

支援者との連携活動として例年通り報告会、講演会、コンサートなどを計画したが新型コロナウイルス感染拡大のために実施できなかった。

4. 特別支援金について

今期は支援者から大口の寄付を頂きましたので、理事会、スタッフ会議にて、その活用を検討した結果、カンボジアの教育関連、アフリカの教育・医療に関する特別事業を支援し、その他、会の主旨に沿って来期以降活用することにした。

以 上

第4事業年度(2021年10月1日から2022年9月30日)

事業計画

第4事業年度もコロナ禍において、感染対策を考慮しつつ、さらに困窮する支援先に対する継続的な責任を果たすべく、テクノロジーの恩恵も受けながら、活動を継続し拡充していきたいと考えております。そのことを念頭に置きながら以下の事業計画を予定しております。

1) 総務関係

- 理事会開催 定例3回/年 なお、必要に応じて臨時理事会を開催する
- スタッフ定例会 12回/年(毎月1回) 予定
- 年次総会 2022年12月頃を予定
- 情報管理と連携し希望する会員へ種々の情報をメール配信する予定
- 消耗品等の在庫管理を電子的に行うことを予定

2) 財務関係

- 2021年12月と2022年6月にアフリカおよびカンボジアへ通常支援金を送金予定
- 支援金額については、当該時の資金状況により検討する
- 東チモール、その他への支援は、時々状況により検討する

3) 広報関係

- 広報誌 Smiling 2回/年 発行
- News Letter 不定期(随時) 発行

4) 情報管理関係

- Webサイト、Facebookページ等ソーシャルメディアの見直しを予定
- 名簿管理システムの改善と追加フォーム拡充
- 総務連携事業として希望する会員についてのメーリングリスト作成
- Kids&Smile サーバーセキュリティ管理を拡充させる予定
- ファイル管理システム(クラウドストレージ)の見直しを検討

5) 企画関係

前期からの継続案件および新規事業案を挙げた

- 時期を見て、オルガンコンサートなどの実施可能性を検討

- 昨期から N2 PROJECT (川村良彦、奥井奈緒子) により企画・計画が練られている “ART SQUARE –笑顔をつなぐために–”【主催：N2 PROJECT (川村良彦、奥井奈緒子) 共催：横浜東ライオンズクラブ、12月25日(土)開催 於：横浜市鶴見区文化センター／サルビアホール】のイベントにおける出展ブースの一角に場所を提供して頂き、Kids & Smile 紹介コーナーを設置する。目的は、主イベントに来場した方々に立ち寄って頂き、Kids & Smile の会の活動主旨などを支援者以外の方に多く知っていただく宣伝活動を行う。
- 小規模講演会 人数制限やビデオ会議開催と組み合わせるなど感染対策を前提として実施予定
- 他の NPO などの活動家の方などを交えた勉強会を予定
- 当会の Web ページを利用した小規模物品販売システム構築

6) 渉外関係

現在のコロナ禍の中では海外渡航の計画はまだ困難で見通せないが、現地受け入れの状況等を見ながら以下のことを柔軟に考えていく。

- カンボジア訪問 (ボランティア体験)
- 東チモール訪問 (現地視察およびボランティア活動)
- コンゴ民主共和国訪問 (現地視察)

以 上